

第29回 鳥取県図書館大会 開催報告

- 1 大会テーマ 「つなぐつながる図書館の未来～ともに考える多様な学び～」
- 2 主催 鳥取県図書館協会
- 3 共催 鳥取県書店商業組合、認定NPO 法人本の学校、鳥取県学校図書館協議会
鳥取県公共図書館協議会、鳥取県立図書館
- 4 後援 公益社団法人日本図書館協会
- 5 期日 令和6年7月31日(水)
- 6 会場 エースバック未来中心、倉吉交流プラザ
- 7 参加者

	基調講演	事例発表	分科会1	分科会2	分科会3	分科会4	分科会5	合計
会場	194(61)	199(61)	62(21)	45(15)	29(10)	41(7)	26(8)	226(65)
オンライン	97(22)	94(21)	42(10)	14(6)	5(1)	36(4)	—	104(22)
合計	291(83)	293(82)	104(31)	59(21)	34(11)	77(11)	26(8)	330(87)

※登壇者・スタッフを含む。※()は会員参加者数。

※第5分科会のオンライン開催はなし。

※合計は総参加者数。

8 内 容

(1) 開会行事

挨拶：鳥取県図書館協会 会長 齋藤明彦
鳥取県教育委員会事務局中部教育局 局長 加嶋慎一 氏
倉吉市教育委員会 教育長 中田寛 氏

(2) 基調講演

演題：「連携の多様性が生み出す図書館の未来」
講師：森いづみ 氏（県立長野図書館 館長）

(3) 事例発表「つながりのきっかけを見つけよう！類縁機関活動紹介」

発表者：三浦努 氏（鳥取県立美術館 学芸担当参事）
北園香織 氏（鳥取県男女共同参画センター 情報アドバイザー）
坂西理之 氏（鳥取県立船上山少年自然の家 指導担当係長兼社会教育主事）

コーディネーター

山下孝治 氏（鳥取県教育委員会事務局中部教育局 社会教育担当係長兼社会教育主事）

(4) 分科会

	テーマ(会場)	内容	講師・発表者等
1	ICT 活用の先に見えてくる新しい読書と学びのカタチ (エースバック未来中心小ホール)	ICTの活用が、社会での情報活用や学校での学び、読書活動等にどんな影響をもたらすのか。鳥取県の現状を踏まえつつ、その先の読書や学びの在り方を考えた。	登壇者：横山順一氏（鳥取県教育センター所長）、麻田真氏（鳥取県立倉吉東高等学校司書主任）、三田祐子氏（鳥取県教育委員会事務局社会教育課生涯学習推進担当係長）
2	読書バリアフリーについて考える～必要とする人に適切な方法で～ (エースバック未来中心セミナールーム3A)	図書館における読書バリアフリーサービスが「読書バリアフリー法」成立後、大きく前進している。図書館現場で何が必要とされているのか。利用者、学校、公共図書館の協働で実現できることを考えた。	登壇者：谷口慎二氏（鳥取県見えにくい人を考える会副会長）、古田晶子氏（鳥取県立鳥取聾学校司書）、前田晶子氏（倉吉市立図書館主幹）、コーディネーター：藤井美華子氏（琴浦町図書館係長）

3	源氏物語から考える古典の楽しみ方 (倉吉交流プラザ第1研修室)	『源氏物語を読んでもみよう～紫式部が伝えたかった「大切なこと」～』の著者中永氏を招き、源氏物語を題材として古典の魅力や楽しみ方について話していただいた。	講師：中永廣樹氏 (元鳥取県教育委員会教育長)
4	あらためて、まちの書店を考えよう ※主催：本の学校文化祭実行委員会 (倉吉交流プラザ視聴覚ホール)	まちの中から書店が消えたといわれる一方で、新しいチャレンジや、図書館との協働が注目されている。挑戦する書店の実践から、まちと本の未来を考えた。	登壇者：佐藤友則氏 ((株) 総商さとう 代表取締役)、柴野京子氏 (上智大学教授)、梶原治樹氏 (扶桑社販売局局長)
5	図書館応援団大交流会 ※主催：交流会実行委員会 (エースパック未来中心セミナールーム7)	図書館活用や読書振興のために活動する団体の情報交換会を開催した。応援団にできることや、住民参加型の図書館運営について考えた。※応援団活動に関心のある方にもご参加いただいた。	参加予定応援団の所属自治体：境港市、江府町、智頭町 ほか

※昼休憩を利用して鳥取県立美術館の見学会を実施。事例発表に登壇いただいた同館三浦努参事に案内いただき30名が館内を見学した。

9 日 程

時間	内容
9時30分から10時まで	受付
10時から10時15分まで	開会行事
10時15分から11時45分まで	基調講演
11時45分から13時15分まで	休憩
13時15分から14時45分まで	事例発表
14時45分から15時まで	休憩
15時から16時30分まで ※第4分科会は17時30分終了。	分科会

10 手話通訳・要約筆記等について

- ・全体会：手話通訳者と要約筆記者を配置した。
※要約筆記は筆記者が手書きで行うノートテイク方式で実施。
- ・分科会：事前申込みがなく手話通訳者・要約筆記者を配置しなかった。
- ・配布資料の拡大印刷やデータの提供等希望はなかった。

11 メディア等への掲載

- ・「枠を超えて『つながる』31日倉吉で県図書館大会」
(日本海新聞令和6年7月9日 図書館出合いの広場)
- ・「書店の役割や未来に思いはせ 本の学校文化祭」(日本海新聞令和6年8月6日)
- ・「鳥取県図書館大会がありました！」(中部教育局社会教育だより、わくわく中部8月号)

第29回鳥取県図書館大会アンケート（有効回答 126 件）

Q1、所属について

所属名	人数
公共図書館	42
小学校	19
中学校	11
高等学校	9
特別支援学校	9
ボランティア	6
その他 ※	21
所属なし	9
※その他：大学／行政職員、団体職員、医療機関、企業 ほか	

Q2、鳥取県図書館協会の会員について

会員	会員外	回答なし
42	83	1

Q3、お住まいの地域

東部	中部	西部	県外	回答なし
44	32	35	14	1

Q4、本大会についてどこで知りましたか？ ※複数回答あり

どこで	人数
チラシ	33
ホームページ	12
新聞	2
図書館で案内されて	45
知人から聞いて	12
その他 ※	28
回答なし	2
※その他：プレリリース／職場に届いた案内／ SNS／協会からの案内 ほか	

○広報について、所属や会員・非会員別での顕著な傾向はないが、「図書館で案内されて」や「知人から聞いて」という回答をはじめ、口コミでの広報が集客につながっている。学校関係者は学校への通知（案内）から情報を得ている。また、司書課程を受講している学生が授業の一環で参加しており、来年度は司書課程の学生にも積極的に情報提供したい。

Q5、「基調講演」の満足度をお知らせください。

満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	不参加	回答なし
81	27	0	0	10	8

【主な感想】

- ・これからの図書館を考えるにあたりワクワクするようなお話を聴かせていただいた。考えに基づく実践、何より社会や住民の皆さんに貢献しようという気持ちが伝わって来て元気になった。
- ・いついかなる時も誰でも公平に活用できる図書館づくりにはさまざまな人や施設との連携によって成り立つのだと事例をもつての講演が聞け、とても興味深かった。
- ・デジ図書の先進地である長野県について詳しく知ることができた。すべての利用者に対して紙とデジタルという選択肢を幅広く確保することが本当の読書バリアフリーになるとあらためて感じる事ができた。

Q6、「事例発表」の満足度をお知らせください。

満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	不参加	回答なし
47	44	6	0	19	10

【主な感想】

- ・それぞれの施設のコラボができそうなことが後半の話し合いの中ででていて、「つながつながら」という今日のテーマにぴったりな話し合いができていていいなと思った。
- ・3つの施設の活動の豊かな展開をさらに充実させていくために必然的に他施設、図書館とつながっていくこと、それが新たなそれぞれの場のサービス提供を充実発展させていく連関をイメージできた。
- ・県立の各施設について知ることが出来て良かったです。美術館の見学の機会もいただけて嬉しく、完成後、是非行ってみたい気持ちになりました。

Q7、分科会1「ICT活用の先に見えてくる新しい読書と学びのカたち」の満足度をお知らせください。

満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	回答なし
26	14	0	0	4

回答者 44 人

【主な感想】

- ・ ICT 活用の現状について知り、図書館の現状と ICT について考えることができた。
- ・ 子どもたちの読書に対する現状意識、それらを鑑みた学校図書館や教育の取り組み事例を伺えてとても勉強になった。特に質問にあった「図書館で調べ学習するメリットとは」については登壇者の意見をふまえて色々と自分の認識を深める話が聞けてよかった。

Q7、分科会 2「読書バリアフリーについて考える」の満足度をお知らせください。

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	回答なし
20	9	0	0	3

回答者 32 人

【主な感想】

- ・ 様々な立場の方の報告が聞けてよかった。連携の在り方などいろいろと考えさせられることがあり、自館のサービスに活かしたい。
- ・ 団体、図書館、学校と、立場の違う方のお話で参考になった。読書バリアフリーはまだ始まったばかり。どのような立場の人でも自由に本が楽しめるよう、本という媒体が幾つになっても心を育てるような存在であるよう、関係者一同力を合わせ情報を拡げて欲しい。

Q7、分科会 3「源氏物語から考える古典の楽しみ方」の満足度をお知らせください。

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	回答なし
19	3	0	0	0

回答者 22 人

【主な感想】

- ・ 源氏物語は高校、大学で少し触れる機会があったのだが、詳しくは知らなかったため、とても楽しく講演を聞かせて頂いた。源氏物語の深い魅力に少しでも触れる機会になった。
- ・ 源氏物語について今回のお話は初めて拝聴した。源氏物語の登場人物の生き方や心理描写が現代と関係していることなどをとても興味深く感じ、引き込まれた。講師の著作と、源氏物語をぜひ読みたい。

Q7、分科会 4「あらためて、まちの書店を考えよう」の満足度をお知らせください。

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	回答なし
6	2	0	0	0

回答者 8 人

【主な感想】

- ・たくさんキーワードをいただいたが、特に町の本屋は高校生が「夢を叶える場所」、また「人生が変わるのは本との出会いか人の出会い」と明確に語られたことに感動した。
- ・図書館として、その経営理念や次世代を育てる姿勢など学ぶべき点が非常に多かった。ぜひ「ウィー東城」と「ほなび」の両方にお邪魔したい。

Q7、分科会5「図書館応援団大交流会」の満足度をお知らせください。

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	回答なし
9	1	0	0	1

回答者 11 人

【主な感想】

- ・各団体がどのような活動をされているのか知ることができてよかった。また、現状の課題なども分かり、今後どのように活動されていくのか見ていきたい。
- ・それぞれの友の会カラーのようなものが伺えて興味深かった。ぜひまたじっくりと集いたいと感じた。

Q8、大会運営についての提案や、今後の大会で取り上げてほしいテーマ・講師、その他、鳥取県図書館協会への意見・要望等があればお書きください。**【主な記述】****<運営について>**

- ・移動時間にはゆとりがありよかったが、終会の時間がもう少し早い方がありがたい。
- ・図書館で使用できる物を作成できる分科会があればと思う。
- ・他の分科会にも参加したかった。アーカイブ配信してくださると嬉しいです。

<今後の大会テーマについて>

- ・電子書籍、ICT 活用もどんどん変化していくと思われますので、また何年後かにこのようなテーマの話も聴けるといいなと思います。
- ・引きつづき読書バリアフリーについてと YA（中高生（→利用がやや少ない層））向けの活動について。

<その他感想など>

- ・過去に何度か参加させて頂いておりますが、今年度は特に見応えのある大会でした。
- ・基調講演は大変良かった。同様の内容について鳥取県の図書館はどういう状況なのか、断片的にしか知らないなので、鳥取県のことを参加者が知る機会があると良いと思った。

※その他、図書館大会スタッフへのねぎらいや、オンラインを併用した開催や、手話通訳者と要約筆記者の配置への謝意が複数ありました。

第29回鳥取県図書館大会



開会行事



基調講演



基調講演（森いづみ講師）



基調講演（質疑応答）



事例発表



事例発表

第29回鳥取県図書館大会



第1分科会



第2分科会



第3分科会



第4分科会



第5分科会



美術館見学